



2019年5月28日

株式会社ゲンロン

ゲンロン 大森望 SF 創作講座の最優秀賞である

「ゲンロン SF 新人賞」

第3回受賞者が決定しました

2019年5月17日（金）、「ゲンロン SF 新人賞」第3回（主催：株式会社ゲンロン）の公開講評会が開催され、受賞者を下記のように決定しました。

選考委員は、評論家で SF 講座主任講師の大森望氏、作家の飛浩隆氏、批評家でゲンロン創業者の東浩紀の3人となります。

受賞作は、改稿のうえ、弊社より電子書籍として刊行予定です。また、来年に刊行予定の批評誌『ゲンロン 11』に全文掲載されます。

第3回ゲンロン SF 新人賞

琴柱遥「父たちの荒野」(40,000字)

受賞者プロフィール

1983年生横浜市在住 青山学院大学卒

受賞作あらすじ

女たちのなかでたった一人が男という異形になり、集落を放逐され、「父」として彷徨う世界。密かに父へのあこがれを持つハイラに、子どもを生き育てる歳が近づく。しかし、老いた父は女を殺し、集落は恐怖に包まれる。そこにどこからか現れるはぐれ者の若い男。女として生きることを望む親友と、野生に惹かれる気持ちに引き裂かれるハイラ。

「彼女」の下す決断は――？

また併せ、優秀賞には谷田小夜「バックファイア」、大森望賞には進藤尚典「推しの三原則」、飛浩隆賞には伊藤元晴「猫を読む」が選ばれました。

最終選考に残った7作は、全文ウェブで掲載され、公開されています。

下記 URL のサイトをご覧ください。

「超・SF 作家育成サイト 2018 年版」

<http://school.genron.co.jp/works/sf/2018/>

最終選考会の模様は、ネット中継され、現在も視聴が可能です。

下記 URL のサイトをご覧ください。

【無料生放送】飛浩隆×大森望×東浩紀「第3回 ゲンロン SF 新人賞選考会」

https://www.youtube.com/watch?v=BZi1_HbUdDQ

今回最終選考に残った7作はいずれもレベルが高いものでしたが、とくに受賞作については選考委員3人が最高得点をつけ、全会一致での受賞が決まりました。これからの活躍が期待できる大型新人の誕生です。ぜひみなさまのメディアでも取り上げていただければ幸いです。

記事用の写真、作者への取材アポイントなど弊社で手配いたします。

ご希望のかたは下記までお気軽にお問い合わせください

ゲンロン SF 新人賞とは

株式会社ゲンロンが2016年より運営する〈ゲンロン 大森望 SF 創作講座〉の最終課題として提出された短編作品を対象とした新人賞です。従来の新人賞と異なり、1年間の作家養成プログラムと個別指導を経ての授賞となることに特徴があります。第2回受賞者のトキオ・アマサワ氏が第10回創元短編SF賞を受賞し、東京創元社からの短編集刊行が予定され、SF大会で特別のパネルが作られるなど、教育の成果に注目が集まっています。

〈SF 創作講座〉からはそのほかにも、名倉編氏（『異セカイ系』で第58回メフィスト賞を受賞）、八島游舩氏（『天駆せよ法勝寺』で第9回創元SF短編賞を受賞）など、新しい才能が続々商業媒体でデビュー、活躍しています。

選考は、上記3人の選考委員の討議のほか、当講座のゲスト講師を務めた円城塔、法月綸太郎の2氏、また、早川書房、東京創元社各社の編集者からの投票も参考に決定されました。

問い合わせ先

株式会社ゲンロン

東京都品川区西五反田 1-16-6 イルモンドビル 2F

Tel 03-6417-9230 FAX 03-6417-9231

E-mail tokuhisa@genron.co.jp 担当 徳久倫康（とくひさ・のりやす）